



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：聖路加国際病院 泌尿器科 新保正貴

【研究責任者】

聖路加国際病院 泌尿器科 新保正貴

腎移植ドナーの方を対象とした術後の残存腎臓の機能予測における、 各種画像検査方法の比較に関する研究

1.研究の対象

2011年6月-2020年4月までに後腹膜鏡下ドナー腎摘除術を施行した方

2.研究の目的・方法

現在腎移植においては、ドナーの左右どちらの腎臓を摘出するかは、通常腎機能の悪い方を優先し、ドナーに不利益のないように配慮しています。

左右の腎臓のどちらの機能が良いのかを予測するには事前のCT検査や腎シンチグラフィと呼ばれる検査を用いて総合的に判断されていましたが、はっきりとした基準はありませんでした。

今回の研究では、どの画像検査が最も術後の腎機能に関連するのかを予測するために比較を行います。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

個人情報（カルテID、年齢、性別、生年月日、術前・術後の血液検査データ（Cre, eGFR, CCr,）、CTデータ、腎シンチデータ、手術記録（手術時間、腎阻血時間）等